

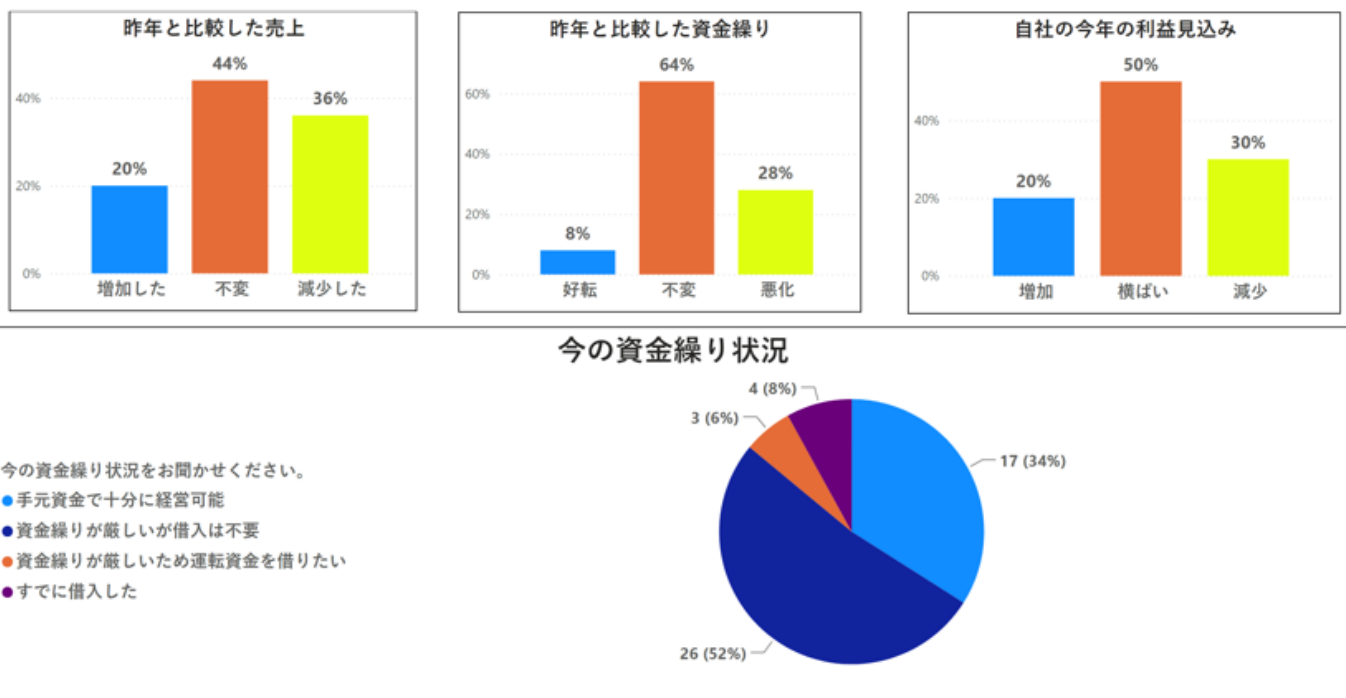
令和8年度 第1四半期の調査結果概要 函南町商工会

令和8年4月～6月期 回答 50社

■今回の経済動向調査の主要ポイント

1. 売上 DI▲16、利益 DI▲10 がともにマイナスで、資金繰り DI▲20 がより弱く、収益鈍化が資金繰りに先行して影響している
2. 経営課題は物価上昇に伴う販売価格の見直し 19 件が最多で、SNS 等による販売促進 15 件も上位にあり、価格転嫁と販路開拓が同時に課題化
3. 資金繰りは借入不要が 43 件と大半だが、借入を希望する層も 3 件 6%あり、支援は価格転嫁と資金繰り管理の両面が要点

全体概要（売上・資金繰り・利益見込み）



■ 昨年の同期と比較した売上について

昨年同期比の売上は「減少した」が 18 件(36%)で「増加した」10 件(20%)を上回り、売上 DI(全体)は▲16.0 と低迷傾向である。

■ 昨年の同期と比較した 資金繰りについて

昨年同期比の資金繰りは「悪化」が 14 件(28%)に対し「好転」は 4 件(8%)にとどまり、資金繰り DI(全体)は▲20.0 と厳しい状況である。

■ 自社の今期の利益見込みについて

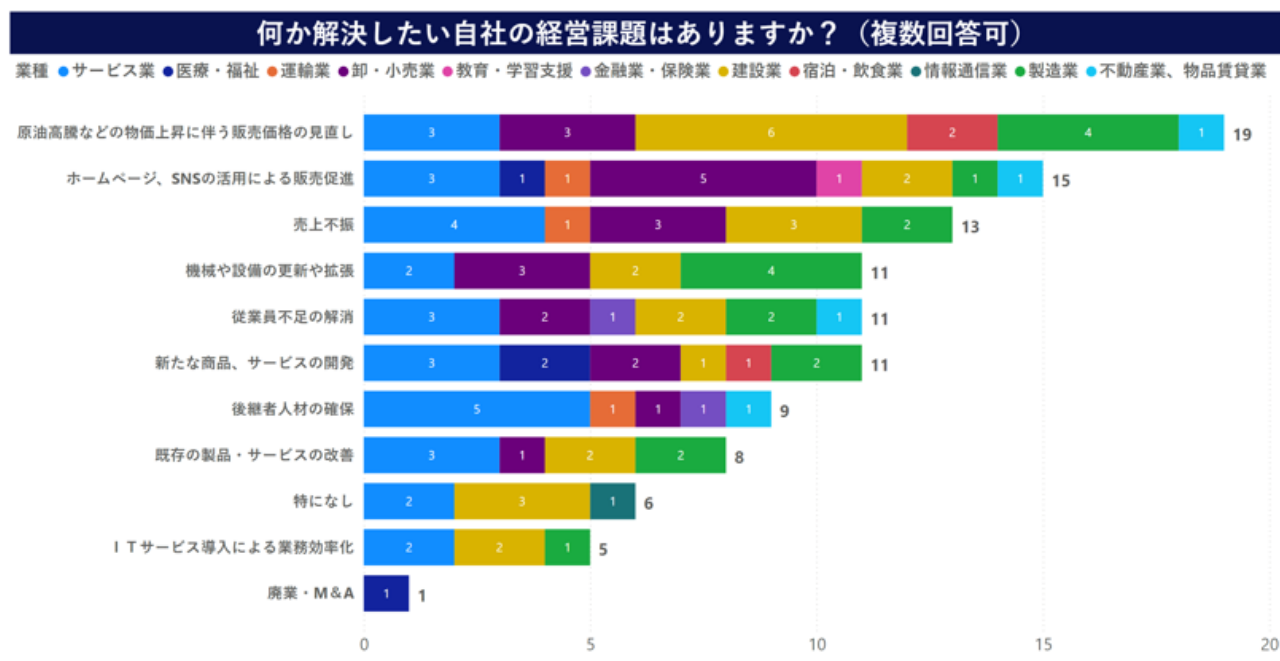
増加:10 件、横ばい:25 件、減少:15 件 ・利益 DI: ▲10

利益見込みは「横ばい」が最多(25 件)で増減が拮抗しているものの、DI 値は▲10 とやや弱含みであり、事業者の先行き不透明感がうかがえる。

■現在の資金繰り状況

最多は「資金繰りが厳しいが借入は不要」が 26 件(52%)、次いで「手元資金で十分に経営可能」が 17 件(34%)で、資金繰りに厳しさを感じる事業者が多数を占める傾向である。

資金不足感(実質的な資金需要):借入希望・借入済の合計は 7 件(14%)と全体の約 1 割強に達し、一部事業者では切迫した資金ニーズが存在している。

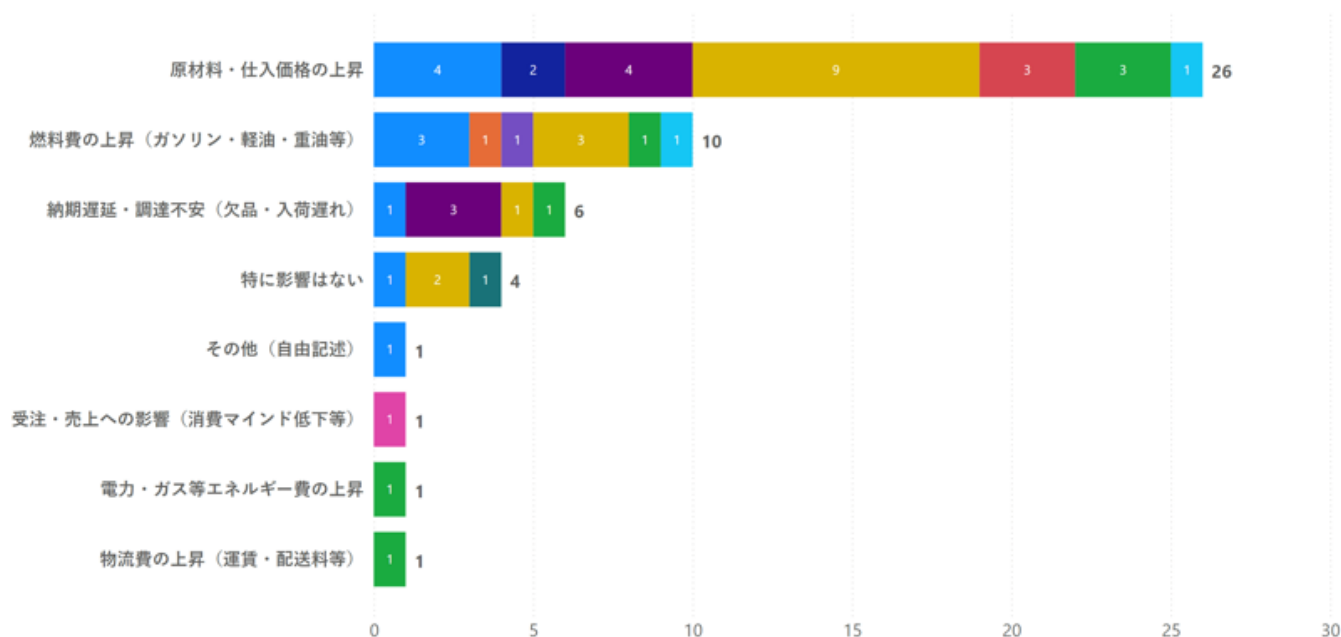


経営課題は「原油高騰などの物価上昇に伴う販売価格の見直し」が 19 件で最多、次いで「SNS 等による販売促進」が 15 件となり、価格転嫁と販路開拓の両面で支援ニーズが高い。

【3 月以降の中東情勢の影響について】

3月以降の中東情勢の影響を受け、直近の4～6月において貴社に
影響があった項目を1つ選んでください

業種を教えてください。 ● サービス業 ● 医療・福祉 ● 運輸業 ● 卸・小売業 ● 教育・学習... ● 金融業... ● 建設業 ● 宿泊・... ● 情報通... ● 製造業 ● 不動産...



3月以降の中東情勢の影響については、直近の 4～6 月における影響項目を確認しており、原材料費・燃料費・物流費などのコスト上昇が、売上・利益・資金繰りの各 DI 低下と重なっている点に留意が必要である。

函南町管内 利益DI 天気図（2026年第1四半期）

製造業 -20	建設業 -18	卸・小売業 -30
雨 	雨 	雨 
飲食業 0	サービス業 0	その他の業種 0
曇り 	曇り 	曇り 